

河川土木工事業における墜落・転落災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	11~12	民間の農家組合より依頼された堰の修繕工事において、他2名と上下で単管パイプ（2m）の受け渡しを行っていたが、上部で作業していた被災者の足元が滑り、1.5mの高さより下へ飛び降りた。その際に着地地点がコンクリートだった為、左踵を骨折した。	59~49	30
2	15~16	法面にブロックをクレーンにて設置中、次のブロック据付準備を行っていたが、仮置きブロック2段積みの上から転倒した。転倒した原因については、本人も憶えていない。クレーンは、その直前のブロックを吊って据付中であり、また他の作業員も転倒したところを見ていない。	77	—
2	10~11	河川護岸補修工事現場の環境保全型ブロック積上部でシラス埋戻しランマ転圧時にランマが傾き落ちない様に支えようとしてH=2.5mの場所からバランスを崩し転落した。転落の際に左足が魚巢ブロックに引っ掛かり足首をひねってしまった。	24	—
5	11~12	河川内の河岸整備工事現場にて、仮囲いフェンス撤去の為、バックホウにて周囲の雑草除去の為に表土のすきとり作業を行っていた。バックホウを運転していた被災者が、重機から降りようとしてシートベルトを外し、立ち上がった時に突然気を失い運転席より転落し、頸椎を骨折した。	43~29	10
6	16~17	工事現場において、工事作業に支障となる左岸側の支障木を根元からチェーンソーで伐採作業中、指示を出していた被災者の方に倒れて来そうになったため避けようとして、誤って後方にある護岸陥没箇所に転落し、左足首付近を骨折した。	54~9	1
6	15~16	10尺の脚立を使って剪定作業をしている時に、張力のかかったつるを切ったところ、つるが左目に当たり、脚立上でバランスを崩し転落して、右手首と左目を負傷	44~	1

		したものである。		9
9	11～ 12	河川右岸の間知天端にて伐木・除伐等の作業を委託していた、原材を河床に投下し、河床陸地に引き上げ、トラック積み込みをする為、小型バックホーを使用し作業を行っていた、小型バックホーが河床陸地部移動中、一部地盤の安定しない個所で、重機がバランスをくずし、転倒した、その際、被災者は重機より飛び降り水面に着水したが、傾き転倒してきた重機に水中で挟まり受傷した。	50	1 ～ 9
10	9～ 10	現場内に仮置きしていた仮設ハウスを約10m移動後、移動予定だった仮設トイレを移動する前に、作業責任者が急用のためその場を離れた。その間、待機させていた被災者と重機材が仮設トイレを吊る準備を始めてしまい、間もなくの事故である。仮設ハウス移設時は作業責任者がバックホウを操作。	68	1 ～ 9
10	13～ 14	資材置き場で4tユニックの荷台からφ800パイプの継ぎ手を手卸し作業中、継ぎ手が作業服に引っ掛かり、一緒に転落し左足の大腿骨を骨折した。	45	10 ～ 29
11	14～ 15	ブロック積工の施工が終わり、ブロック積工の先端にガードケーブル基礎ブロックの設置をしていた。最後のブロックを設置し、バリで微調整をしている時に、バリの先が外れて、バランスを崩して、1.45mの高さから転落して、岩盤に膝をぶつけた。	42	1 ～ 9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)